

第39回テニス日本リーグ 開催要項

主催	公益財団法人日本テニス協会
主管	一般社団法人関東テニス協会 関西テニス協会
後援	日本経済新聞社 横浜市 三木市
運営協力	一般社団法人東京都テニス協会 神奈川県テニス協会 一般社団法人兵庫県テニス協会

期日	(1) 男子リーグ	ファーストステージ	2024年12月 5日(木) ~ 8日(日)
		セカンドステージ	2025年 1月22日(水) ~26日(日)
		決勝トーナメント	2025年 2月14日(金) ~16日(日)
	(2) 女子リーグ	ファーストステージ	2024年 12月6日(金) ~ 8日(日)
		セカンドステージ	2025年 1月25日(土) ~26日(日)
		決勝トーナメント	2025年 2月14日(金) ~16日(日)

会場	◆第1会場：東京体育館（マット／室内4面） 決勝トーナメント 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1 TEL：03-6380-4832 (管理事務所) 臨電：03-3423-8808
	■第2会場：横浜国際プールテニスコート（マット／室内5面） ファーストステージ・セカンドステージ 〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田7-3-1 TEL：045-592-0453 (管理事務所) 臨電：045-620-9412
	■第3会場：兵庫県立三木総合防災公園屋内テニス場 (ブルボンビーンズドーム：ハードコート／室内5-7面) ファーストステージ・セカンドステージ 〒673-0515 兵庫県三木市志染町三津田1708 TEL：0794-85-8413 (事務所) 臨電：0794-85-3022

区分		1stステージ [12月]		2ndステージ [1月]		決勝トーナメント [2月]	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子
会場							
第1会場	東京体育館					8チーム	6チーム
第2会場	横浜国際プール	9チーム	6チーム	9チーム	6チーム		
第3会場	ブルボンビーンズドーム	9チーム	6チーム	9チーム	6チーム		

※会場の都合により、試合会場を変更することがある。

種目	男子：前年度大会の残留チーム及び予選大会（全国A大会）から昇格した18チーム以内による実業団対抗リーグ戦並びにリーグ戦各ブロック、上位4チーム計8チームによる決勝トーナメント。 女子：前年度大会の残留チーム及び予選大会（全国A大会）から昇格した12チーム以内による実業団対抗リーグ戦並びにリーグ戦各ブロック、上位3チーム計6チームによる決勝トーナメント。
-----------	--

<p>チーム編成 及び参加資格</p>	<p>下記記載のチーム編成を満たす実業団であって種目に該当するものが、定める申込手続を行うことで第39回テニス日本リーグ（以下「本大会」）に出場することができる。</p> <p>*男女共に、部長、監督及びマネージャー各1名。トレーナーは複数可とするが、部長、監督、マネージャーその他の（選手以外の）構成員と合計して8名以内とする。選手（補強選手を含む）は4名以上9名以内とする。また、各チームの連絡担当者は、上記のいずれかとして各実業団の構成員とされた者に限る。なお、上記のいずれかとしての各実業団の構成員としての登録は、1名の者につき1つの実業団（選手以外は、男女各1つの実業団）に限り認められる。</p> <p>*男女共に、選手が、部長、監督、トレーナー又はマネージャーを兼任できる。</p> <p>*各実業団の選手としての登録は、2024年10月1日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、以下①、②又は③のいずれかに該当する者に限り認められる。</p> <p>①当該実業団の運営主体若しくは所属団体又はその連結決算対象の親会社若しくは子会社と直接雇用契約のある従業員。</p> <p>②JTA登録のプロフェッショナル選手又はJTA登録のない外国籍選手のいずれかに該当する選手で、当該実業団の運営主体若しくは所属団体又はその連結決算対象の親会社若しくは子会社と所属契約を締結している選手。なお、JTA登録のない外国籍選手の出場は1回の対戦につき1試合とする。</p> <p>③男女共に、学生である選手については、2024年10月1日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、いずれか1つの実業団において上記①又は②に該当する場合、かつ、2024年10月1日現在においてJTAプロフェッショナル登録又は登録申請を完了している場合、当該実業団の選手としての登録が認められる。</p> <p>*女子の実業団においては、2024年10月1日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、以下の①、②又は③のいずれかに該当する者を、当該実業団における補強選手として登録することができる。また、当該実業団は、2024年10月1日現在及びそれ以降本大会期間中を通じて、当該実業団の拠点1箇所を都道府県単位で指定のうえ、JTA実業団委員会事務局（以下「本事務局」）所定の申請書を提出しなければならない。補強選手の出場は、1回の対戦につき1試合とする。</p> <p>①当該実業団の拠点（都道府県）の在任又は在勤の社会人であること。</p> <p>②当該実業団の拠点（都道府県）の中学・高校又は大学のいずれかを卒業している社会人であること。</p> <p>③当該実業団の運営主体又は所属団体の元社員又は元職員であること。</p> <p>*各実業団は、その構成員として登録した選手（以下「登録選手」）について所属地域に関係なく同一実業団内でベストメンバーを組むことができる。</p> <p>*各実業団における参加申込後のチームの選手の変更又は追加は、男子が2024年12月5日、女子が12月6日の監督会議で1名に限り許可する。</p> <p>*第38回テニス日本リーグに出場した実業団の登録選手であって、第63回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスバル・テニス）にも出場した選手は、本大会においてはいずれの実業団の選手としても登録することはできない。</p> <p>*本事務局は、各実業団の運営主体又は所属団体等に対し、選手の参加資格確認の為、雇用契約又は所属契約が分かる契約書等の開示を求めることがある。</p>
<p>試合方法</p>	<p>男子：2シングルス、1ダブルスの対抗リーグ戦、トーナメント 女子：2シングルス、1ダブルスの対抗リーグ戦、トーナメント</p> <p>*但し、同一選手は、1回の対戦においてシングルス、ダブルスに重複して出場できない。</p> <p>*シングルのオーダー順位は、登録順とする。</p> <p>*シングルス・ダブルスとも、ベストオブ3セット。ファーストセカンドセットはタイブレークセット（2タイブレークセット）、ファイナルセットは10ポイントマッチタイブレークとする。</p> <p>*止むを得ない理由により、選手数が不足した場合でも、出来る試合は成立させる。</p> <p>(1) 男子 [1st・2ndステージ] 18チームをレッド・ブルーの2ブロックに分け、各ブロック（9チーム）でラウンドロビンを行う。 [決勝トーナメント] 1st・2ndステージの各ブロック上位4チーム計8チームによるトーナメントを行い、優勝チームを決定する。5位決定戦及び7位決定戦を決勝トーナメント2日目の土曜日に行う。 [降格（次年度の出場資格）] 1st・2ndステージの各ブロック下位2チーム計4チームはリーグから降格する。各ブロックの上位7チーム計14チームが次年度の出場資格を取得し、各ブロック下位2チーム計4チームがそのストレート・インの資格を喪失する。但し、残留チームから不参加が出た場合その限りではない。</p> <p>(2) 女子 [1st・2ndステージ] 12チームをレッド・ブルーの2ブロックに分け、各ブロック（6チーム）でラウンドロビンを行う。 [決勝トーナメント] 1st・2ndステージの各ブロック上位3チーム計6チームによるトーナメントを行い、優勝チームを決定する。5・6位決定戦を決勝トーナメント2日目の土曜日に行う。 [降格（次年度の出場資格）] 1st・2ndステージの各ブロック下位1チーム計2チームはリーグから降格する。各ブロックの上位5チーム計10チームが次年度の出場資格を取得し、各ブロック下位1チーム計2チームがそのストレート・インの資格を喪失する。但し、残留チームから不参加が出た場合その限りではない。</p> <p>(3) 試合順序 試合順序は原則として、シングルス2・1、ダブルスの順とする。男子・女子とも原則として2面1対抗、3面2対抗とするが、会場の条件により1面1対抗とすることがある。</p> <p>(4) 勝敗決定後のポイント打ち切り 決勝トーナメントは、勝敗決定次第ポイント打ち切りとする場合がある。</p>
<p>審判</p>	<p>ソロチェア・アンパイアシステムで行う。但し、早朝又は夜間の場合はセルフジャッジもある。決勝トーナメントは、別に決定する。</p>
<p>使用球</p>	<p>ヨネックス TOUR PLATINUM</p>
<p>表彰</p>	<p>(1) 団体 男子：優勝・準優勝・3位・4位・5位・7位・ベストアマチュア賞・特別賞 女子：優勝・準優勝・3位・4位・5位・6位・ベストアマチュア賞・特別賞</p> <p>(2) 個人 最高殊勲選手・男女各1名（組） 最優秀選手・男女各1名（組） 優秀選手・男子4名（組）以内、女子3名（組）以内 敢闘選手・男子4名（組）以内、女子3名（組）以内 最優秀新人選手男女各1名（組） ベストアマチュア賞・特別賞</p>
<p>その他</p>	<p>①大会期間中における負傷等については、主催者加入の傷害保険の範囲内で補償する。 ②ドーピング検査の実施</p>